

医療援助による安楽死について、 医師との会話の進め方 ハワイにおいて

あなたの医療チームと共に終末期の優先事項について今話し合い、あなたが望む選択肢が利用できるようにしましょう。医師があなたの選択肢をサポートすることを確認してください。

会話を始めるための提案

末期の病気ではない人：

私は生活の質を重視しています。終末期になり、もはや生活を楽しむことができなくなった場合、私は医療援助による安楽死の選択肢を選びたいと思っています。

私があなただけを尊重するように、私の意思決定と価値観を尊重していただけることを願っています。私が適格者であれば、法律に従って安楽死の処方箋を書いていただけますか？私の要求を尊重していただけないのなら、今お伝えください。

末期の病気を持つ人：

私は苦しみが耐えられないものになった場合、死期を早める選択をしたいと思っています。

私は医療による安楽死が可能ですか？その場合、「Our Care, Our Choice Act（医療選択法）」にしたがって、処方箋を書いていただけますか？

もしそうでない場合、処方箋を書いてくださる医師を紹介していただけますか？私が適格者でないとしたら、適格となる私の状態はどのようなものですか？

医療援助による安楽死は、安全で信頼できる医療行為であり、余命6か月未満の精神的能力のある末期患者である成人が、安楽死を遂げるために自己投与することを選択できる投薬処方箋を医師に依頼することができます。

この依頼が主治医に依頼できるのはあなた自身のみです。また、この依頼を主治医のみにすることが重要です。医師のオフィススタッフ、看護師または医師のアシスタントに依頼したり、留守番電話に残したりしないでください。

Compassion & Choices が経験豊富な医療ディレクターによる無料の機密電話相談を提供する Doc2Doc プログラムを通じて医師を支援することを伝えても良いでしょう。医師に Doc2Doc のフライヤー、または Doc2Doc の電話番号を渡してください：1-800-247-7421

The Our Care, Our Choice Act （医療選択法）

医療選択法における、医療援助による安楽死に適格であるためには、以下の条件が必要です：

- 成人
- 末期患者
- 6か月未満の余命診断
- 自らの医療判断を行うことができる精神的能力

さらに、以下の条件を満たす必要があります：

- ハワイ居住者
- 自発的な行動
- 医療援助による安楽死薬物の自己投与が可能

法律適用の適格性はホスピスの適格性とは異なります。

2人のハワイの医師により医療選択法使用の適格性を確認し、あなたが情報に基づいた決定を下し、自発的に医療援助による安楽死のための薬物を依頼していることを確認する必要があります。主治医は投薬を処方し、相談医師はセカンドオピニオンを提供します。（主治医は個人とその病気のケアのための主な責任を負う医師と記載されています。）

患者の精神的能力もまた、精神科医、心理学者、または認可された臨床的ソーシャルワーカーによって確認する必要があります。評価は遠隔保健（電話またはビデオによる）を通じて行うことができます。

意思決定はいつでも変えることができます。あなたは医療援助による安楽死の処方箋の要求を破棄または取り消すことができ、薬を所持してからもそれを服用する義務はありません。

詳しくは、www.CompassionandChoices.org/Hawaiiをご覧ください。
または、以下までeメールでお問い合わせください：Hawaii@compassionandchoices.org